

- Annual Schedule -

三木研の年間スケジュール

春
Spring

April

研究生の始まり



- 4月上旬 D-day
大学院入学式
- 4月下旬 新歓コンパ
専門技術用語勉強会
専門技術用語勉強会打ち上げ

知的システムデザイン研究室 (ISDL) での生活が始まります。全体ゼミ、月例発表会などが始まり 4 年生になるまでの生活とは大きく異なってくるのを感じることになります。

***D-Day**

ISDL 研究室へ配属の日を指します。今年は 19 人の精鋭たちが ISDL 研究室に配属され、4 月から研究室を賑わせています。

***専門技術用語勉強会**

学部生の初のプレゼンテーションの機会です。この発表会を通して、レジュメの書き方や発表のノウハウを学びます。学部生をマンツーマンで指導する指導院生が、発表を全面的にサポートします。

May

研究スタート



- 5月上旬 基礎ゼミ・三木ゼミ始動
- 5月中旬 研究ミーティング始動
- 5月下旬 プログラミング演習発表会

4 月の専門技術用語勉強会に続いて、プログラミング演習発表会があります。4 月はレジュメの書き方や発表の仕方を学ぶ一方で、5 月はプログラミングに力を注ぐことになります。これらによって研究のベースラインを一気に上げることが出来ます。

***研究ミーティング**

研究グループごとに行う研究討議のことを指します。研究の進捗状況の報告が行われ、その内容を吟味し、討論を行い、次のミーティングまでの研究目標を決定します。

***プログラミング演習発表会**

専門技術用語勉強会とは異なり、プログラミング能力向上のために行われる発表会です。2011 年は Android 端末や iPad、Kinect を用いて照明の明るさなどをコントロールするユーザーインターフェースの構築を行いました。

June

もうすぐ春学期も終わりです



- 7月上旬 大学院入学試験
- 7月下旬 オープンキャンパス
月例発表会

学部生が研究活動に打ち込む中、大学院生も学会発表で功績を残す時期でもあります。人工知能学会や SACSIS, PDPTA など、国内に止まらず海外でも研究発表を行っているため、学部生にとっても良い刺激になります。

***オープンキャンパス**

高校生を対象に研究室の紹介を行います。高校生に分かりやすく伝えるため、専門的になりすぎないように注意しながら楽しく研究室の魅力を語ることで、普段の学会発表とは変わった発表方法の練習にもなります。

July

もうすぐ春学期も終わりです



- 7 月上旬 大学院入学試験
- 7 月下旬 オープンキャンパス
月例発表会

学部生が研究活動に打ち込む中、大学院生も学会発表で功績を残す時期でもあります。人工知能学会や SACSIS, PDPTA など、国内に止まらず海外でも研究発表を行っているため、学部生にとっても良い刺激になります。

*オープンキャンパス

高校生を対象に研究室の紹介を行います。高校生に分かりやすく伝えるため、専門的になりすぎないように注意しながら楽しく研究室の魅力を語ることで、普段の学会発表とは変わった発表方法の練習にもなります。

August

夏休み到来！



- 8 月上旬 大掃除
研究室公式行事停止
- 8 月中旬 ゼミ旅行
- 8 月下旬 研究室公式行事再開
月例発表会

夏休み恒例となっているゼミ旅行では 2010 年は赤目四十八滝と葡萄狩り、2011 年には城崎温泉など、様々な場所に旅行に行きました。昼は観光・活動をして、夜は宴会で盛り上がることで、先生方や先輩、同輩ともより親密な関係を築くことができます。

*研究室公式行事

研究室公式行事とは具体的には、主に全体ゼミや月例発表会を指します。8 月の間に研究を続けることで、より質の高い研究を行うことが出来ます。

*ゼミ旅行

ゼミ旅行の企画・立案も学生が行っています。事前に希望調査アンケートを取り、旅行先を決定するため、多くの学生の希望をかなえることができます。また、学生の財布に優しいよう値段にも配慮をしています。

September

一足早く研究再開



- 9 月下旬 秋学期開始
月例発表会

同志社大学の夏期休暇は 8 月上旬から 9 月下旬まで 2 ヶ月近くありますが、ISDL では 9 月は通常通り活動しています。このように一足早く研究生活に取り組むことは研究成果を高める秘訣となっています。9 月末からは講義も再開され、月例発表会では卒業論文や修士論文までの中間発表として活用されています。この時期は学会が多く、学部生の初の学会参加となる FIT や HIS もこの時期にあたります。

October

折り返し地点です



10 月下旬 球技大会
月例発表会

講義が始まる一方で、企業の方に知的照明システムを見学してもらうために発足したデモ担当や、企業に導入を行っているシステムの開発・運用を行うプロジェクト担当が引き継ぎの月でもあります。これにより学部生は躍進的な成長を遂げます。一方で、研究に時間を割くのが大変なものこの時期と言えますが、適切にスケジュール管理を行い、球技大会などで身体を動かしてリフレッシュすることで、皆うまくやりくりしています。

***球技大会**

この研究室では、ゼミ旅行の他に球技大会のイベントがあります。学生だけではなく先生方も参加するので、研究室では見ることのできない意外な一面などが覗くこともあります。この企画も学生が考えるため、様々な希望球技が毎年候補として挙がり、多くの参加者が集まります。

November

成果が欲しい時期



11 月上旬 OB 会
11 月下旬 月例発表会

ISDL は OB・OG の方とも非常に結びつきの強い研究室です。OB 会ではそれを実感させられます。2010 年は三木先生が還暦の年ということもあり、OB・OG の方と現役生を含め、総勢 100 人が集まりました。クイズショーや過去を振り返ったスライドショーなど様々な催しがあり、非常に多くの先輩方と触れ合えるのもこの研究室の特徴と言えます。

***OB 会**

毎年 11 月頃に OB・OG と現役生とで OB 会を開催します。毎年多くの OB・OG が参加され、現役時代の話で盛り上がりつつあるので ISDL の縦のつながりが一層濃くなります。

December

はじける忘年会



12 月下旬 忘年会
月例発表会

年末には月例発表会があり、ジャーナル論文を書く機会も設けられています。これらの努力を労うかのように、忘年会では皆日頃の疲れを思いっきり発散させることができます。

***忘年会**

1 年の締めくくりとなる忘年会では、卒業論文あるいは修士論文に必死な人、ジャーナル論文を書き上げた人、早くも年末年始で帰省にかかろうとしている人など様々な人がいますが、この一時はそれを忘れ楽しんでいます。

January

追い込みです



1 月下旬 修士論文提出
修士論文諮問会

新年が明けると、研究生生活は追い込み段階に突入します。先月までの成果のまとめと、問題点の考察、追加実験を行うことで更に質の高い卒業論文を目指します。一方で、卒業間近の大学院生は修士論文の提出と修士論文諮問会があります。ここで 3 年間の研究の集大成が完成することになります。

*修士論文諮問会

修士論文諮問会は大学院生の研究の集大成です。先生方や研究を共にした研究室の仲間の前で発表する最後の大舞台です。この諮問会終了後は、ジャーナル論文として投稿する人も少なくありません。そのジャーナル論文が今後社会で注目を浴びることもあります。

February

晴れ舞台 “卒論発表”



2 月中旬 卒業論文提出
2 月下旬 卒業論文発表会

卒業論文提出および卒業論文発表会が迫ってきて、皆緊迫したムードが漂っています。追加実験をする人、論文チェックで修正に必死な人、発表練習でより質の高い発表を目指す人など様々なアプローチで、皆 1 年間の研究成果を卒業論文につづけ、発表会で披露します。

*卒業論文発表会

卒業研究は卒業論文を書いただけでは終わりません。それを様々な人の前で発表する機会が与えられています。発表時間は質疑応答を含め、約 15 分で構成されることが多いです。あっという間の 15 分と感じるかはこれまでの研究姿勢によって変わってきます。

March

束の間の休息・・・



3 月上旬 卒業式
3 月下旬 謝恩会

研究室での 1 年間、あるいは 3 年間の活動が終了を迎えます。宴会を行った、卒業論文に行ったりと皆思い思いに楽しんでいます。進学する人も就職する人も、来月からの好スタートが切れるように充電しているようです。

そして、また ISDL の新たな 1 年が始まります・・・

*卒業発表から終了日までにあること

ISDL では修士論文や卒業論文が完成すると、それを知的財産としてデータ保存します。このデータを基に、来年入ってくる後輩や引き続き ISDL で研究を行う仲間が更なる研究を行います。また、優秀な論文は、同志社大学の理工学研究報告やジャーナル論文として投稿することで、社会に自分の研究を知らせることができます。